

石岡市都市計画マスタープラン 計画素案に対する主な意見

1. 市民アンケート調査での主な意見

【調査概要】

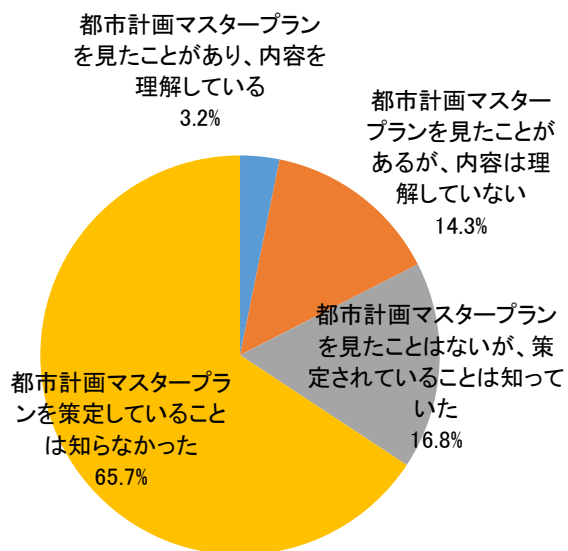
- (1) 調査対象者 石岡市に居住する 18 歳以上の市民 3,000 人を無作為抽出
- (2) 調査日時 平成 27 年 11 月 10 日～11 月 20 日
- (3) 調査方法 郵送により配布・回収
- (4) 回収状況 回収数 915 票（有効回収率 30.5%）

【主な意見】

■ 『石岡市都市計画マスタープラン』について

- ・平成 20 年度策定の都市計画マスタープランについて聞いたところ、65%が「策定していることは知らなかった」と回答しています。
- ・「見たことがある」と回答している人は少なく、2割程度となっています。

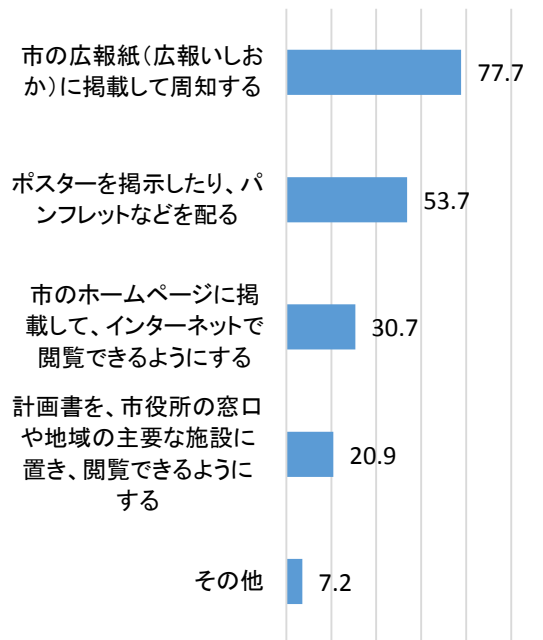
(N=881)



■ 『石岡市都市計画マスタープラン』の周知

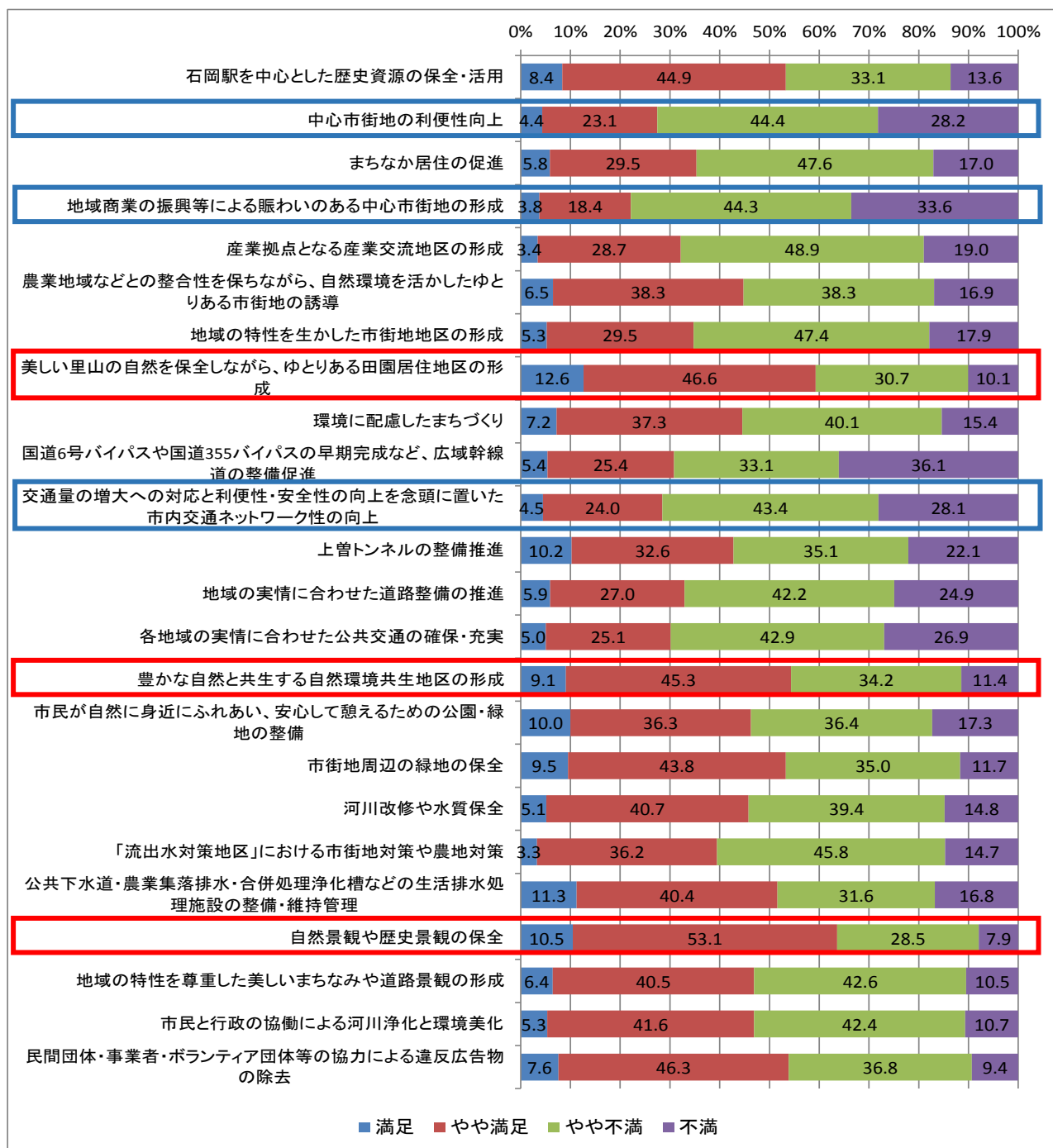
- ・「都市計画マスタープランの周知」については、「市の広報紙（広報いしおか）に掲載して周知する」が 70%以上であり、次いで「ポスターの掲示やパンフレットなどを配る」、「ホームページに掲載」の順となっています。

(%) (N=874)



■取り組み内容の「現在の満足度」

- ・取り組み内容の「満足度」が高い項目としては、「自然景観や歴史景観の保全」、「美しい里山の自然を保全しながら、ゆとりある田園居住地区の形成」、「豊かな自然と共生する自然環境共生地区の形成」となっています。
- ・「満足度」が低い項目としては、「地域商業の振興等による賑わいのある中心市街地の形成」、「中心市街地の利便性向上」、「交通量の増大への対応と利便性・安全性の向上を念頭に置いた市内交通ネットワーク性の向上」となっています。

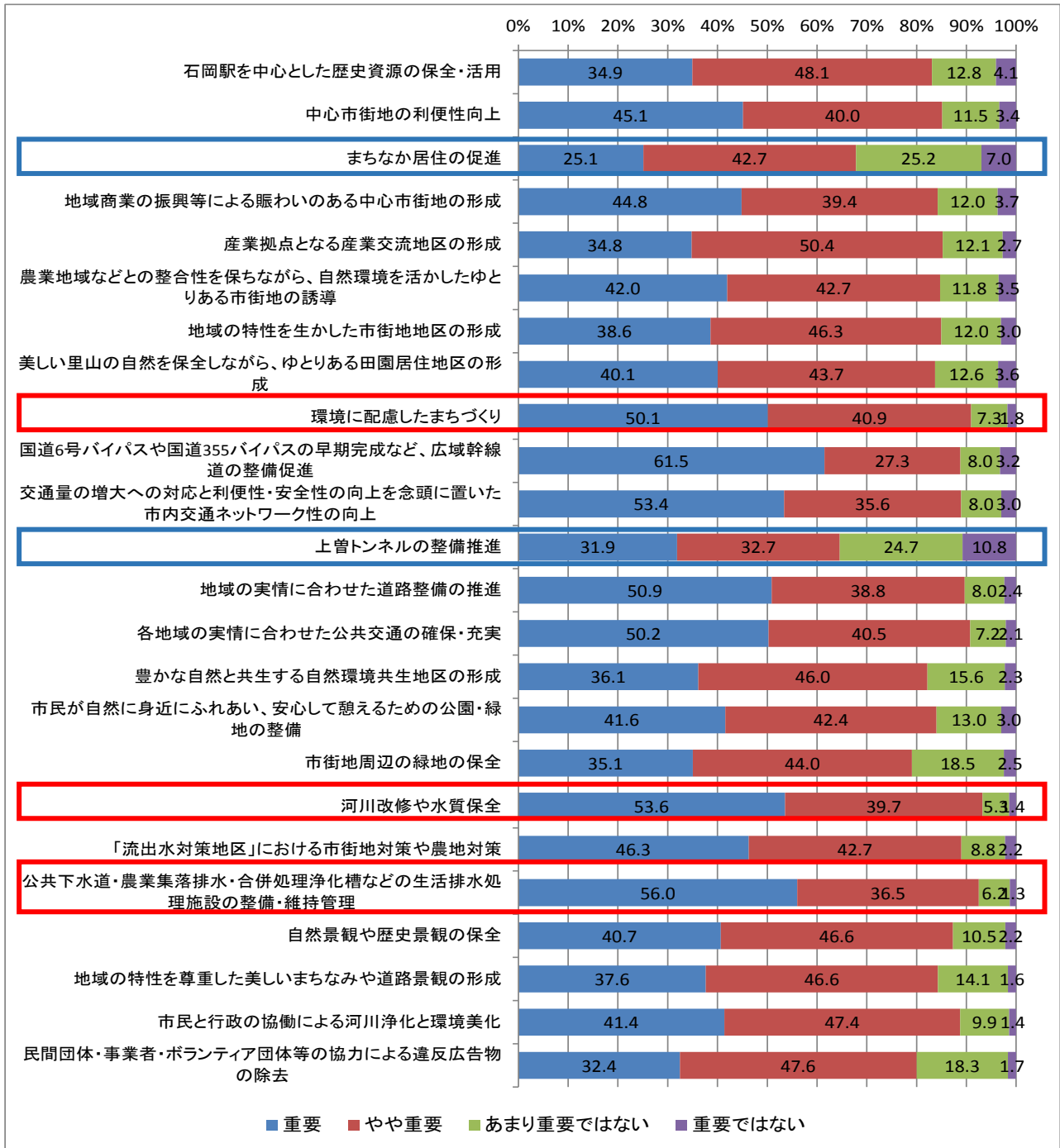


■取り組み内容の「現在の満足度」【地区別】

	満足度の高い（満足＋やや満足）項目			満足度の低い（やや不満＋不満）項目			
	第1位	第2位	第3位	第1位	第2位	第3位	
全体	自然景観や歴史景観の保全	美しい里山の自然を保全しながら、ゆとりある田園居住地区の形成	豊かな自然と共生する自然環境共生地区の形成	地域商業の振興等による賑わいのある中心市街地の形成	中心市街地の利便性向上	交通量の増大への対応と利便性・安全性の向上を念頭に置いた市内交通ネットワーク性の向上	
石岡地区	石岡地区	自然景観や歴史景観の保全	美しい里山の自然を保全しながら、ゆとりある田園居住地区の形成	公共下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽などの生活排水処理施設の整備・維持管理	地域商業の振興等による賑わいのある中心市街地の形成	交通量の増大への対応と利便性・安全性の向上を念頭に置いた市内交通ネットワーク性の向上	
	府中地区	自然景観や歴史景観の保全	美しい里山の自然を保全しながら、ゆとりある田園居住地区の形成	豊かな自然と共生する自然環境共生地区の形成	中心市街地の利便性向上	地域商業の振興等による賑わいのある中心市街地の形成	
	国府地区	公共下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽などの生活排水処理施設の整備・維持管理	美しい里山の自然を保全しながら、ゆとりある田園居住地区の形成	自然景観や歴史景観の保全	地域商業の振興等による賑わいのある中心市街地の形成	中心市街地の利便性向上	まちなか居住の促進
	城南地区	自然景観や歴史景観の保全	民間団体・事業者・ボランティア団体等の協力による違反広告物の除去	公共下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽などの生活排水処理施設の整備・維持管理	地域商業の振興等による賑わいのある中心市街地の形成	各地域の実情に合わせた公共交通の確保・充実	中心市街地の利便性向上
八郷地区	有明地区	石岡駅を中心とした歴史資源の保全・活用	美しい里山の自然を保全しながら、ゆとりある田園居住地区の形成	自然景観や歴史景観の保全	各地域の実情に合わせた公共交通の確保・充実	交通量の増大への対応と利便性・安全性の向上を念頭に置いた市内交通ネットワーク性の向上	
	園部地区	美しい里山の自然を保全しながら、ゆとりある田園居住地区の形成	自然景観や歴史景観の保全	石岡駅を中心とした歴史資源の保全・活用	地域商業の振興等による賑わいのある中心市街地の形成	産業拠点となる産業交流地区の形成	
	柿岡地区	自然景観や歴史景観の保全	民間団体・事業者・ボランティア団体等の協力による違反広告物の除去	美しい里山の自然を保全しながら、ゆとりある田園居住地区の形成	地域商業の振興等による賑わいのある中心市街地の形成	各地域の実情に合わせた公共交通の確保・充実	産業拠点となる産業交流地区の形成
	八郷南地区	石岡駅を中心とした歴史資源の保全・活用	豊かな自然と共生する自然環境共生地区の形成	自然景観や歴史景観の保全	中心市街地の利便性向上	地域商業の振興等による賑わいのある中心市街地の形成	交通量の増大への対応と利便性・安全性の向上を念頭に置いた市内交通ネットワーク性の向上

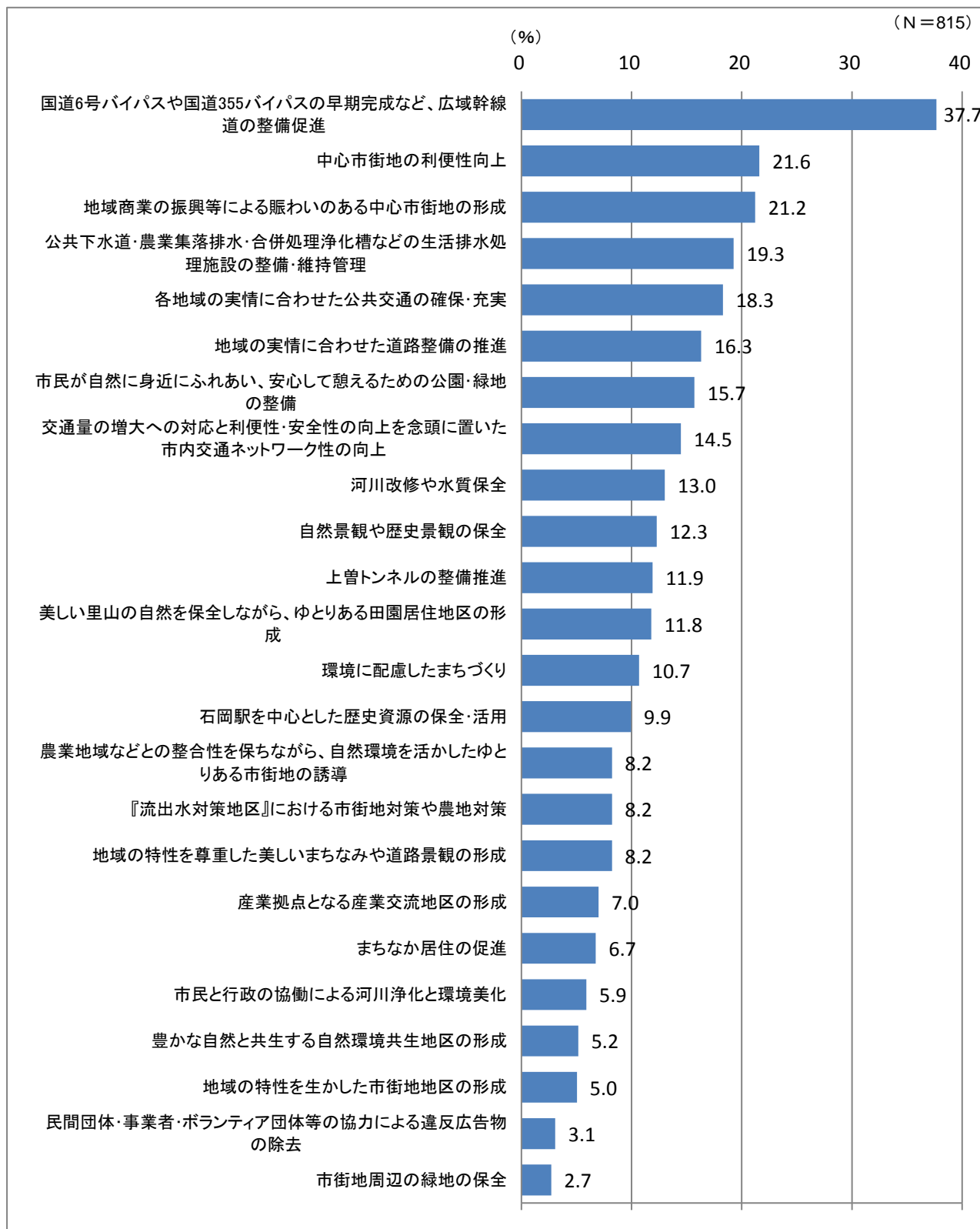
■取り組み内容の「重要度」

- ・取り組み内容の「重要度」が高い項目としては、「河川改修や水質保全」、「公共下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽などの生活排水処理施設の整備・維持管理」、「環境に配慮したまちづくり」となっています。
- ・「重要度」が低い項目としては、「上管トンネルの整備推進」、「まちなか居住の促進」となっています。



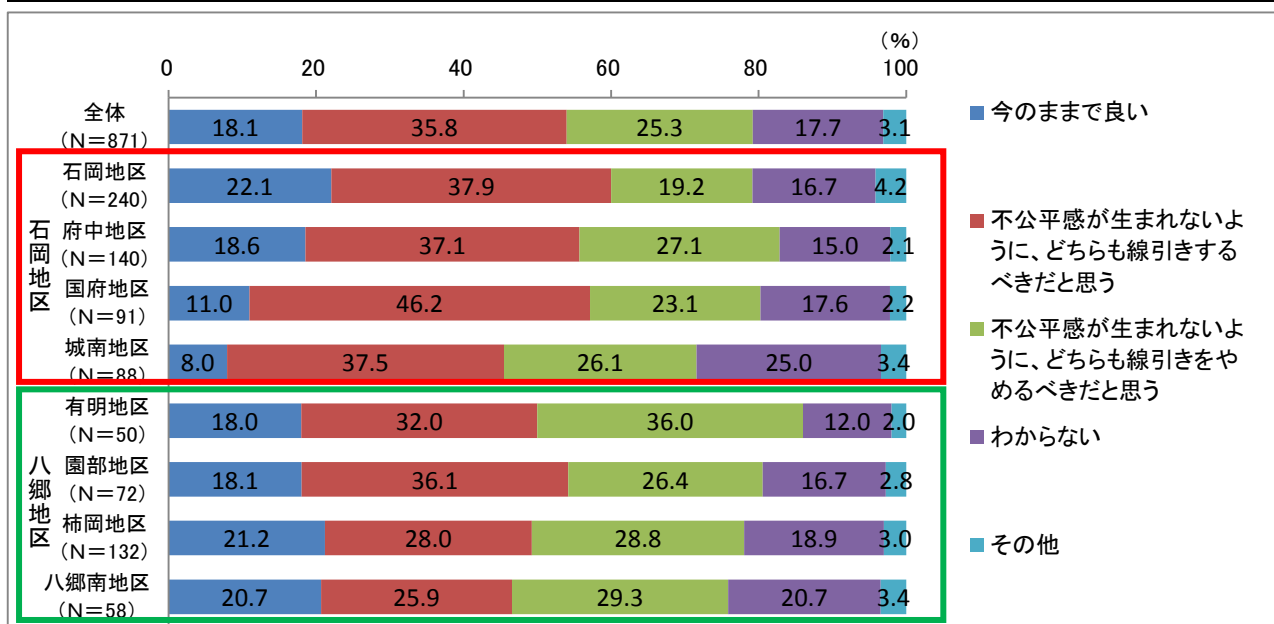
■取り組み内容の「特に重要と思う取り組み」

・取り組み内容の中で、「特に重要と思う取り組み」は、「国道6号バイパスや国道355号バイパスの早期完成など、広域幹線道路の整備促進」が最も多く、次いで「中心市街地の利便性向上」、「地域商業の振興等による賑わいのある中心市街地の形成」、「公共下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽などの生活排水処理施設の整備・維持管理」となっています。



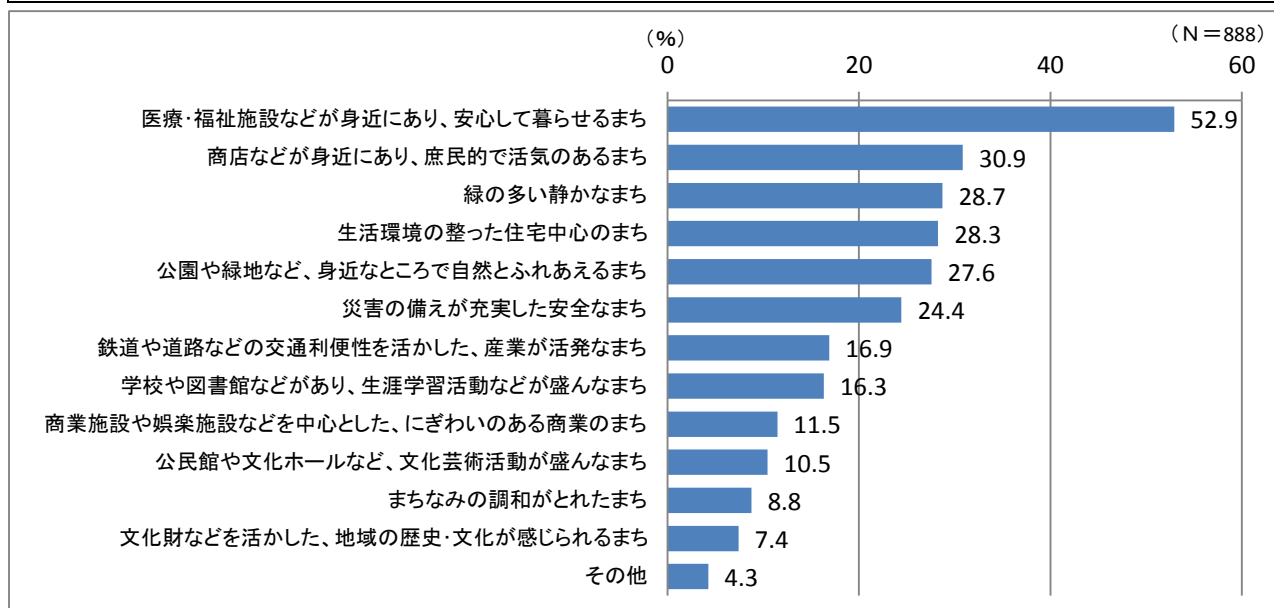
■石岡市の都市計画区域の今後について

- ・「石岡市の都市計画区域の今後について」は、全体では「不公平感が生まれないように、どちらも線引きすべきだと思う」が約36%となっています。次いで「不公平感が生まれないように、どちらも線引きをやめるべきだと思う」が約25%となっています。
- ・地区別では、石岡地区全体では「不公平感が生まれないように、どちらも線引きすべきだと思う」が多く、八郷地区では、「どちらも線引きをするべきと思う」と「どちらも線引きをやめるべきと思う」の意見が同程度となっています。



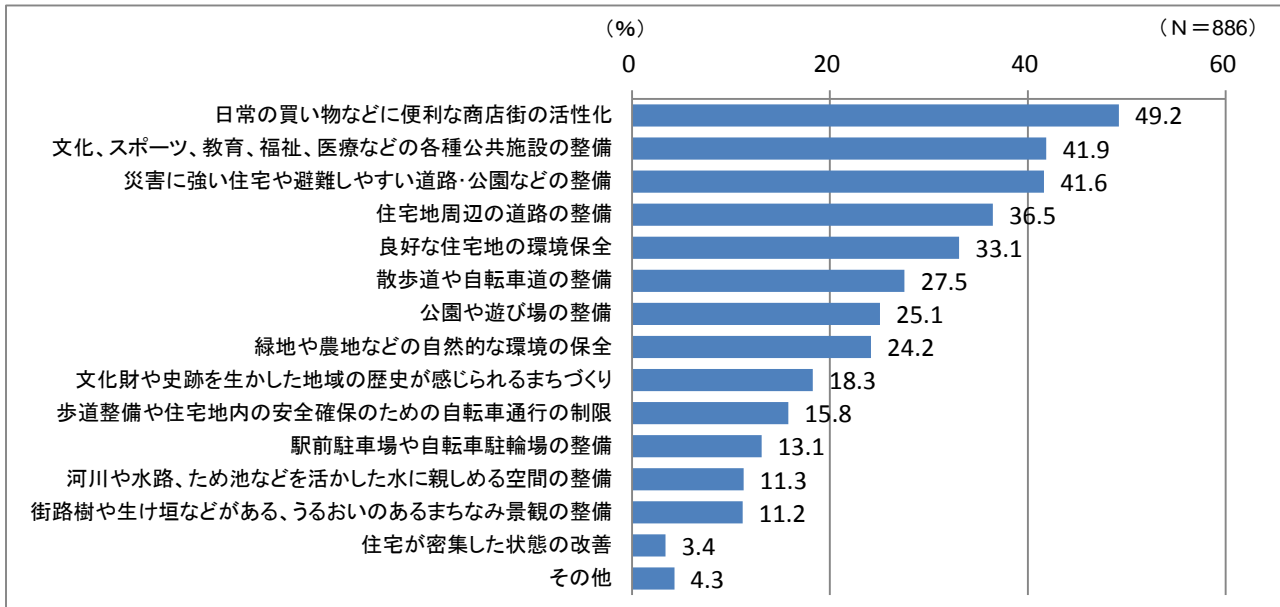
■現在住んでいる地域のあり方

- ・「現在住んでいる地域のあり方」としては、「医療・福祉施設などが身近にあり、安心して暮らせるまち」が最も多く、次いで「商店などが身近にあり、庶民的で活気のあるまち」、「緑の多い静かなまち」、「生活環境の整った住宅中心のまち」となっています。



■住んでいる地域をよりよくしていくために、重点を置く取り組み

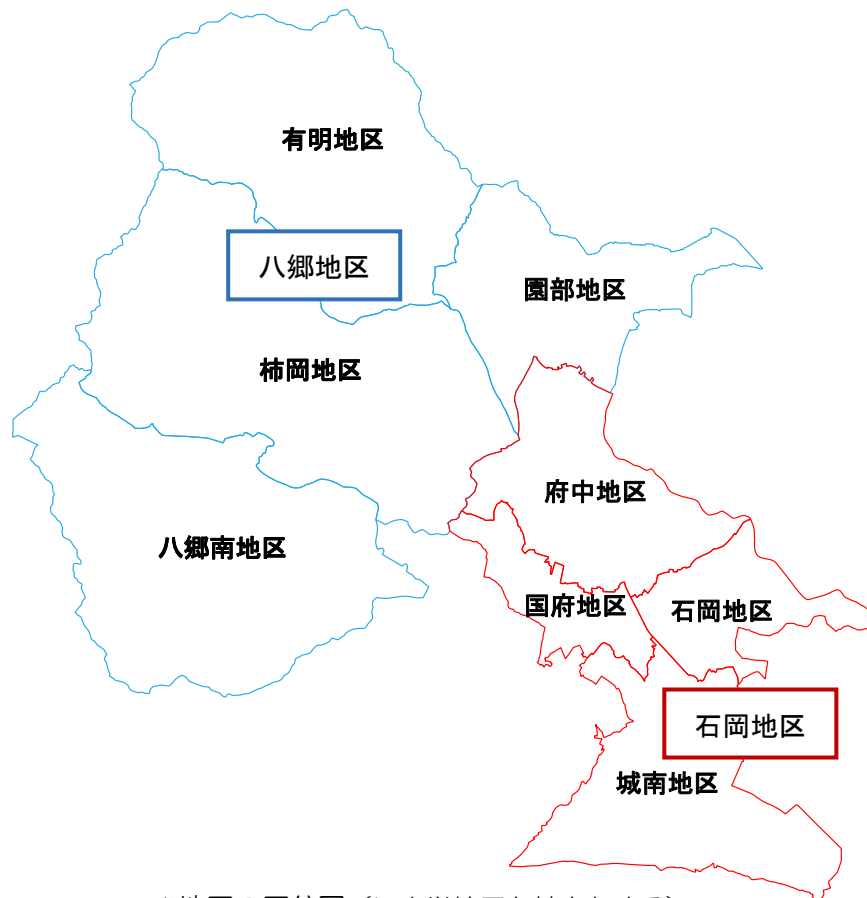
・「住んでいる地域をよりよくしていくために、重点を置く取り組みは、「日常の買い物などに便利な商店街の活性化」が最も多く、次いで「文化、スポーツ、教育、福祉、医療などの各種公共施設の整備」、「災害に強い住宅や避難しやすい道路・公園などの整備」となっています。



2. 地区別懇談会での主な意見

【開催概要】

- (1) 開催日時 平成28年3月8日(火)～3月18日(月)
- (2) 開催地区 市内8地区(石岡/府中/国府/城南/柿岡/有明/園部/八郷南)
- (3) 参加人数 延べ119人
(石岡地区16人、府中地区17人、国府地区24人、城南地区18人、柿岡地区12人、有明地区9人、園部地区10人、八郷南地区13人)



《地区の区分図(旧中学校区を基本とする)》

【主な意見】

■石岡地区

懇談会での意見

- ・景観条例の強化をしてほしい。(自然景観を大事にしていく、太陽光発電を規制)
- ・下水道のない地域があり、整備をしてほしい。
- ・市民活動をもっと前面に立って支援してほしい。
- ・火葬場の跡地は、近隣市との共同保有ではなく、石岡市の単独保有にして活用すべき。
- ・石岡の資源を活用して交流人口を増やす考えが弱い。これらをよく考えて、計画に落とし込むことが大事。

懇談会での意見

- ・石岡や八郷にある自然や歴史資源を交流人口増加の資源として活かし、整備計画に落とし込む。
- ・目標や考えはわかるが、どのように実行していくかが大事。
- ・磁気気象観測や電波望遠鏡など世界に通じる科学資源の最先端があり、科学も歴史のように計画内で扱ってほしい。

■府中地区

懇談会での意見

- ・碯石沢地区の道路を整備してほしい。(農村地域の舗装)
- ・石岡小美玉 SIC を IC にしてほしい。
- ・マスタープランが手広すぎて、色々と中途半端になっているため、優先順位を付けて予算を重点配分してはどうか。
- ・重点地区を設定して整備を行い、人を集め活性化を行うのも一案である。
- ・駅前で、短時間の買物の際に自由に車を止めるスペースなどを設けるなど、小さなことから活性化を図る。
- ・若者や子育て世代をターゲットにして、特化したほうがいい。
- ・懇談会で、現在のマスタープランに対する検証結果を説明してほしい。
- ・農業集落排水など下水道の整備を行い、清潔なまちづくりを目指してほしい。

■城南地区

懇談会での意見

- ・現行マスタープランの成果検証を説明してほしい。
- ・城南地区の道路計画をはじめ、中心地ばかりではなく地域にも目を向けていくべきである。
- ・中学校の統廃合など公共施設がなくなることにより、地域が活性化していかなくなる。
- ・三村、関川には公共施設がなくなり、過疎化していく。景観だけが良ければいいのではない。活気のあるまちにしてほしい。
- ・学校統合後の施設をどう利活用していくのかが都市計画ではないか。
- ・若者の発想が必要。
- ・「水を活かした」まちづくりとは、これまでの計画を継承するのか、新たなものになるのか。実施主体まで示さないと進まない。(たとえば、競艇を誘致すれば、高浜駅は活性化し、雇用も増える。そうなれば、周辺道路もよくなる)
- ・霞台の広域ごみ処理施設の計画が触れられていない。施設は小美玉市に配置だが、ごみ処理車の通行が発生するため、道路計画等入れておくべきである。(ココスの前は朝夕渋滞している)
- ・城南中・石岡中の学校統合後の通学路、街路灯の整備
- ・中心部だけで無く、地域から活性化してもいいのではないか。
- ・豊かな田園地帯や古墳、筑波山、霞ヶ浦の入り江、恋瀬川等、地区の資源を目玉にした地域の活性化が必要。
- ・行政は縦割的であるため、相互連携を図ってほしい。

懇談会での意見

- ・茨城空港へのアクセス道路の整備（道路利用が悪いと特急電車が停車しなくなり、まちが衰退していくのではないかと）
- ・実施計画を示して欲しい。具体的に何ができるのか。
- ・愛郷橋から高浜あたりの水路を活用した歩道の整備（冠水、散策路、桜並木）
- ・安全安心なまちづくりの具体策を一番にしてほしい。
- ・霞ヶ浦二橋ができれば、城南地区は活性化すると思う。
- ・愛郷橋周辺の桜つつみの改善（ソメイヨシノに変える、アジサイを植える）

■国府地区

懇談会での意見

- ・具体的な「石岡らしさ」が示されていない。
- ・人口減少の原因が触れられていない。
- ・都市マスの周知状況が60%以上の人が知らないことが問題である。
- ・計画期間が10年から20年に伸びた根拠は？
- ・コンパクトの意味が分からない。市民がわからない言葉が出てくる場合は補足を加えるべき。
- ・少子化対策は福祉関係だと思いが、連携しているのか。
- ・人口減少で若者が減少している理由は。
- ・空き家対策はあるのか。
- ・合併して10年たつが、用途地域で都市計画税を徴収していない地区（八郷地区）がある。不公平ではないか？（行政内だけでは解決できない問題なので、議員等と話し合いをして解決してほしい。（懇談会で出てきた意見であると伝えてほしい））
- ・飲料水の水質について、改善されていない。また、災害時に利用できなく、それも改善されていない。
- ・安全安心が一番大切である。水、防犯などの対策がいつできるのかを示してほしい。

■園部地区

懇談会での意見

- ・マスタープランを住民に分かりやすく知らせてほしい。
- ・八郷市区の太陽光発電の件。自然エネルギーの活用はいいが、八郷地区や柿岡地区の耕作放棄地に乱立されており、筑波山のすそ野の農家景観を保護するようなことは考えられないか。景観条例では規制をかけるまで至らない。
- ・園部地区も高齢化が進み、買い物や通院に不自由している。石岡市全体の問題でもある。
- ・働く場がないため、人口は減少していくと思われる。
- ・農業で一般的な収入を得ることが非常に厳しい。
- ・園部地区の農業地域は、いかに効率的に高収入が得られるかが、一つのキーワードである。
- ・行政で策定される目標はかなり多く、目標年次と内容を明確に示してもらえれば、意見交換もしやすいと思う。

懇談会での意見

- ・年1回の懇談会であれば、もっと細かく、わかりやすい資料を出してほしい。
- ・コンパクトなまちづくりを進めていくことはいいと思う。(駅周辺は住宅を誘導し、駅から離れた地域は農業主体とするなど、見直してもいいのではないか)
- ・北関東道の笠間西ICから園部地区に伸びる県道が混雑していて、今後交通量の増加や企業誘致なども考えられる。たとえば、瓦谷辺りに山沿いの道路に交わるバイパスを作るなど。
- ・幹線道路がないとますます生活関連施設が撤退することとなり、都市計画で線引きをして、制限をかけないといけないと思う。
- ・都市計画マスタープランを作るにあたり、法的な壁もあると思うが、それを変えないと結果は出ないと思う。
- ・土地と道路の整備は並行して取り組まないといけない区域だと思う。
- ・小美玉市の羽鳥駅を強調して、路線バスや道路整備が進められるようであるが、どのような案が出ているのか。
- ・パセオパルケから橋を抜けて355号につながる道路について、県道とつながる交差点は危険である。
- ・道路が危険なので、信号をつけてほしい。(瓦谷から園部地区へつながる交差点、パセオパルケ八郷周辺)
- ・道路の位置づけを地域に知らせてほしい。
- ・現行マスタープランの園部地区の実績を知りたい。
- ・現行マスタープランでは、土地利用の検討もやっていたようだが、道路整備だけでいいのか。
- ・高齢者が多く、若者を呼び込む施策は、まだまだ足りない感じがする。
- ・都市計画マスタープランの位置づけがわかりにくいのは、石岡市のまちをどうするのかというソフト面とのリンクがピンとこないからである。

■有明地区

懇談会での意見

- ・有明地区の実績はないのか。市全体での実績しかないのなら、地区別は必要ないのではないか。
- ・安全安心のまちづくりの視点から、一時停止の標識や道路の白線等が薄く補修してほしい。
- ・有明地区にざわめきという箇所があり、大雨時には恋瀬川が氾濫し通行止めになるため、検討してほしい。
- ・懇談会の出席者が少ない。参加者を増やす方法を考えてほしい。
- ・人口減少の防止案を聞きたい。
- ・有明地区における、集落排水の方向性について確認したい。
- ・恋瀬小学校周辺の生活拠点地区に集約して住む方向で考えているのか。
- ・道路とバス路線は地域から円滑な運行をしている。
- ・田園風景の保全しつつ生計を立てられる農業を行うには、行政もサポートしてくれるのか。
- ・恋瀬地区は狭い道路が多い。道路幅をきちんと進めてほしい。(建築基準法の道路の確保ができていない。市としても指導がされていない)

懇談会での意見

- ・ マスタープランは住民側から出したほうが良いのではないか。
- ・ 行政で考えるまちづくりの方向性を示して欲しい。
- ・ 現行マスタープランからの継続性はあるのか？継承されていくのか？
- ・ 豊後荘病院周辺の県道が細く、大きく曲がっていて危険である。
- ・ 文化芸術交流軸（工業団地から医師会病院の前の道路）の道路整備
- ・ 瓦会・恋瀬・園部地区は、小美玉市や笠間市に隣接しているため、将来都市像のなかに「近隣市町村との連携」を追加してほしい。
- ・ 道路で、赤い道路が2本しかないので、工業団地から医師会の前の道路は緑色を赤色にしてほしい。
- ・ 広域連携として、羽鳥駅からつながる美野里・八郷線は県道140号線まで伸ばしてほしい。

■柿岡地区

懇談会での意見

- ・ 人口減少に伴う市全体の空き家対策
- ・ 物を作る時の次への問題点への対応（たとえば、トンネルの開通は八郷地区の住民がつくば方面へ流出してしまう）
- ・ コンパクトなまちづくりとは、商業施設だけであるのか。医療や消防、行政施設等も必要ではないか。
- ・ 太陽光発電の開発行為に対する市の対応は？
- ・ 集客には、地域ならではのものを作ることだと思う。（自然の景観、新鮮な農作物、百合の里（温泉施設））
- ・ 高齢者のための便利で有効な公共交通手段が必要である。
- ・ 八郷地区の観光果樹園は多くの人が集まる。
- ・ 八郷地区の観光施設の整備、HPを見やすくする、交通手段、歴史ボランティアの充実等。点として存在している観光資源を有効に結んで有効に案内できると良い。
- ・ 学生や市民が参加できるボランティアの方策、協働のまちづくり条例の取組み

■八郷南地区

懇談会での意見

- ・ 月岡の小桜郵便局から辻のフルーツライン、里山学校を經由した道路（遊歩道付）を新設してほしい。
- ・ 弓弦公民館からかすみがうら市に抜ける林道を遊歩道として整備してほしい。
- ・ 人口減少の対策として、市の結婚相談員等によるバックアップや結婚した人への生活拠点のサポート。環境に配慮した工場の誘致。教育システムの向上
- ・ 公民館跡地や市所有の土地の管理を徹底してほしい。（草刈等）
- ・ 山は荒れ放題であるし、ゴミ捨て場になっている所もあるので、山林の復活、自然保護をしたいが、地域では労力が乏しい感じがする。ふるさと学習や地域活動がうまくできるような環境

懇談会での意見

を作ってほしい。

- ・朝日トンネルが開通し、ダンプトラックが多く何とかしてほしい。
- ・地域でもっている山（昔は地域で山を管理していたが、今は税金も払えずお金を徴収している）について、地域で守れるように、行政としても検討してほしい。
- ・仏生寺地区には、ハザードマップのレッドゾーンがあるが、できるだけなくすよう、県に働きかけをしてほしい。
- ・小幡地区公民館の設置をしてほしい。（現在、南中学校跡地を利用している）
- ・文化の拠点として、公民館、図書館などがあるとよい。学校を拠点とした文化施設も必要である。
- ・計画を実行するための具体的な内容を示して欲しい。
- ・小桜地区の景観条例にある自然保全地域について、自然環境保全の具体的な方法を示して欲しい。トンネルを抜けると素晴らしい環境があるが、竹林が多く、どうにかしてほしいと思う。
- ・小桜地区は小学校単位でまとまった環境で活動している。その環境を維持してほしい。
- ・土地は個人所有であるため、みんなで話し合っ、具体的に進めればできるのではないか。

3. パブリックコメントでの主な意見

【実施概要】

- (1) 募集期間 平成 28 年 3 月 15 日（火）～3 月 28 日（月）
- (2) 周知方法
 - ア 広報いしおか 3 月 15 日号への折込み
 - イ ホームページ
- (3) 閲覧方法
 - ア 市ホームページ
 - イ 窓口（石岡市役所まちづくり館 2 階（都市計画課）、石岡市八郷総合支所 2 階（支所道路建設課））
- (4) 募集結果
 - ア 応募人数 5 人
 - イ 意見数 27 件

【主な意見と市の考え方】

■計画全般に係る意見

意見の概要	市の考え方
<p>(1) プランの特徴をどのように考えているか。</p> <p>(2) 全体構想と地区別構想があるが、具体的には市街地、八郷地区をどのような姿にするのか。</p>	<p>(1) 都市計画マスタープランは、市の総合計画及び県の都市計画区域マスタープランを上位計画と位置付け、市の土地利用のあり方や都市基盤（道路、公園、下水道、景観等）の整備方針を示すものです。策定中のマスタープランの主な特徴としては、将来都市像にコンパクトなまちづくりを掲げ、その実現を目指すことが挙げられます。</p> <p>(2) 石岡地区と八郷地区とでは、都市の構造が異なりますが、それぞれの地区内に中心市街地、生活拠点、産業拠点、観光拠点等が点在しています。それらの拠点にできるだけ機能を集約し、拠点間を道路や公共交通で連携させることで、コンパクトな都市形成を目指します。</p>
<p>目的が不明確です。歴史文化を鑑み課題を論じていますが、都市はどう考えるのかが見えません。</p>	<p>上位・関連計画、都市の現況・課題等の整理により、拡大型都市計画から質の高い集約型都市計画へと転換を図る必要があるとの考えから、安心して暮らせるコンパクトな都市づくりの実現を将来像として掲げております。</p>
<p>コンパクトシティの計画内容が見えません。コンパクトシティ内の市民の日常生活を支える都市の配置が分かりません。車だけでなく、自転車利用者、歩行者を大切に。また、高齢者のための公共交通の計画が見当たりません。</p>	<p>コンパクトな将来都市像に基づき、市内の主要な地区を拠点と位置付け、都市拠点や地域生活拠点等では自動車に過度に依存せず、歩いて暮らせる拠点形成を目指します。また、高齢者等の移手段確保のため、各拠点を結ぶ公共交通についても言及しております。</p>

意見の概要	市の考え方
若年層の激減、高齢者の激増など社会状況の変化に対して、協働による現有人口構成で市政の姿を打ち出すこと、石岡市独自のプランがあること、望まれる。	石岡市の現在人口や将来人口推計に即して、地域性に配慮した石岡市独自のプランとして策定を進めているところです。

■都市施設（道路、下水道、公共施設等）の整備に係る意見

意見の概要	市の考え方
各拠点をつなぐ直道路、茨城空港への直道路、周辺市町村への道路の整備	道路の整備方針については、周辺市町村との連携を強化する「広域連携軸」、市内の中心拠点をつなぐ「都市骨格軸」、市内の拠点をつなぐ「地域連携軸」などを位置付けています。 これらの軸により、市内の拠点間や市内外との交流促進につながるものと考えております。
首都圏とのかかわり。TXと八郷、常磐線と高浜、そして八郷と高浜、この3点のアクセスが重要。	本市と首都圏とのかかわりの観点から、駅へのアクセスは重要であると考えております。 道路整備については、周辺市町村との連携を強化する「広域連携軸」、市内の中心拠点をつなぐ「都市骨格軸」、市内の拠点をつなぐ「地域連携軸」などを方針として位置付けており、駅へのアクセス性向上にもつながるものと考えています。
・介護とその家族が近くに住めるよう、住宅地と介護施設が隣接した都市計画と税的優遇措置で首都圏から移民受入。 ・教育施設の充実。つくばの筑波大のように、石岡は芸術での特色教育。比較的アクセスの良い高浜に芸術大の誘致	人口減少・超高齢社会の到来は、本市においても避けられないものであるとの認識の下、安心して暮らせる都市の構築や居住者確保に向けた取組み等は重要であると考えておりますので、御意見を参考にさせていただきます。 また、学校誘致などについては、より戦略的な計画づくりの方法として、関係部署と調整を図りながら記載を検討してまいります。
交流プラザ設置が未整備とあるが、整備するなら、協働まちづくりの拠点としたい。P12表の項目は「その他」ではなく「共生・協働」程度に改められたい。また「協働まちづくり条例、市民憲章」についてもこの中に含めたい。	交流プラザにつきましては、現行の都市計画マスタープランに記載はありますが、現時点で整備する予定がありませんので、記載を行うかどうかも含めて検討させていただきます。

■地域資源の保全・活用や地域活性化に係る意見

意見の概要	市の考え方
(1) 当市は筑波山から霞ヶ浦までの有数の景観、地域資源を保持している。グリーンベルト地帯や景観保護地域に八郷盆地を含む、何らかの線引きは考えているか。	(1) 筑波山、霞ヶ浦等につきましては、石岡市の重要な景観資源であると考えておりますが、現時点で景観的な線引きについては考えておりません。 (2) 景観の整備方針として、石岡地区の歴史景観及

意見の概要	市の考え方
<p>(2) 現在、八郷柿岡地区は、耕作放棄農地・山林に太陽光パネルが散見され、地域住民から不安の声がある。景観や地域資源を保護するような施策の考えを聞かせてほしい。</p> <p>(3) これからパネル設置の予定数、予定地をあらかじめ把握できるか。可能ならこれらの状況を公表してほしい。</p>	<p>び八郷地区の自然・里山景観の保護を掲げています。また、既存の景観条例・景観計画の適切な運用を通じて、地域の景観資源を保護を行います。</p> <p>(3) 都市計画マスタープランの内容とは直接関係のない御質問かと思われます。太陽光パネルの設置予定数等は把握しておりません。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・「歴史ある町石岡」をアピールできる歴史館を旧石岡市内に設置する。 ・霞ヶ浦をいかした公園、水族館、遊園地等、リゾート地の開発整備 	<p>観光施設の具体的な整備内容まで記載する予定はありませんが、市内で観光の中心となるエリアを観光拠点として位置付け、観光機能の拡充による交流促進につなげたいと考えております。</p> <p>エリア取りにつきましては、本市の歴史資源や霞ヶ浦等の自然資源も含め、再度検討いたします。</p>
<p>旧南中学校が、中・高一貫校として開校されるので、柿岡地区に大学等を誘致し、文教地域として整備する。</p>	<p>旧八郷南中学校の活用についての具体的な話は聞いておりませんが、学校跡地の活用に伴う周辺の土地利用等につきましては、関係部署と調整を図りながら検討してまいります。</p>
<p>自然と居住地エリアの他にイベントエリアでワクワク都市を目指す。大型スポーツ施設（サッカー、野球場）と野外フェス等のコンサート施設への利用（石岡市街地に）</p>	<p>本都市計画マスタープランの中で、交流人口の増加に向けた観光拠点について言及する予定です。既存の運動施設やイベント広場などの活用も含め、関係部署と調整を図りながら記載を検討いたします。</p>
<p>国道6号バイパスは計画期間中に提供されるのに計画対応が見られません。（駅や古墳、古寺跡などへの計画内容）</p>	<p>将来的に国道6号バイパスが供用されることに伴い都市構造の変化も想定されますので、計画対応を検討いたします。</p>
<p>歴史ゾーンの計画を提案します。歴史のまちならば、歴史散策路が必要です。</p>	<p>景観整備の方針や地区別構想の中で記載を検討いたします。</p>
<p>豊かで美しい緑輝く森の都市を</p>	<p>自然系の土地利用方針も定め、市内の守るべき自然環境の保全を掲げております。</p>
<p>景観特性、例えば八郷地区の自然景観、石岡地区の歴史景観が特徴を出すプランは今後の課題。</p>	<p>石岡地区の歴史景観や八郷地区の自然・里山景観など、それぞれの地区で景観特性が異なりますので、特性に応じた景観整備の方針を示してまいります。</p>
<p>多核都市を目指すようだが両地域（旧石岡・旧八郷）の特質で区分し、例えば八郷地区なら果物産地など含む筑波山裾野一帯を景観地区にし、両者は競合することなくそれぞれの地域資源をいかすことを盛り込むべき。</p>	<p>石岡地区と八郷地区とでは、都市の特性が異なりますが、それぞれの地域特性をいかしつつ、市全体として連携のまちづくりが進められるように記載を検討いたします。</p>

■計画の実現（実現時期、市民との協働等）に係る意見

意見の概要	市の考え方
<p>(1)懇談会で出た意見・提案等を、①市民に働きかけ短期に対応できる、②中期的のできる仕事、③隣接市町村と連携しながらやる仕事、④県・国との協働で行うものなどに分類する。</p> <p>(2)貴職がリーダーシップをとり、関係部署と連携しつつ、市民との「協働事業」を立ち上げる主体になってほしい。</p> <p>(3)協働事業を都市計画マスタープランに併記、又はメニュー化表記の工夫をしてほしい。</p>	<p>(1) 地区別懇談会で頂いた御意見等は、記載方法も含めて反映を検討いたします。</p> <p>(2)、(3) 協働事業の立上げに関しては、担当部署がありますのでそちらが主体になるかとは思いますが、内容として協働によるまちづくりの記載を行うことを検討いたします。</p>
<p>市民に密着した公益的な主体を公募等で指名する。まちづくり協働課などと連携し、行政と事業の橋渡しを担う要件でボランティアを募集したい。</p>	<p>法人や民間団体のボランティア活動の募集制度として公園里親制度などがありますので、そういった公募による協働事業の推進について記載を検討いたします。</p>
<p>都市の課題・政策目標が明示されている(プラン13~17、63ページ)。課題が網羅されて、よく整理されているとしても「絵に描いたモチ」にすべきはできなく、課題は「協働事業」として再掲する。</p> <p>協働事業を明示し、地域に働きかけ・誘導する役割は当初は行政主導で、関係部局が連携し、事業課題別に仕分け、市民、企業、NPO等が分担できるようメニュー化を行う。</p>	<p>都市計画マスタープラン(案)の実現に当たっては、市民、事業者、行政がそれぞれの役割を担い、まちづくりの目標実現に向けた取組みを行うことが不可欠であると考えております。</p> <p>協働によるまちづくりについての記載を検討し、市民協働に向けた取組みを図っていきたいと考えています。</p>
<p>アンケートでは今後の施設整備のあり方として、計画段階から市民の意向を反映させ、必要最小限の費用で済む計画を望み、限られた財源を有効に活用、優先順の高いものを集中的にすべきとある。空き家利用、民間活力をいかすことなど考慮する。</p>	<p>市の厳しい財政状況に配慮して、道路等の都市施設の見直し、都市施設の整備手法等について記載を検討いたします。</p>

■計画内容の周知や市民意見の扱いに係る意見

意見の概要	市の考え方
<p>市民アンケートの結果をどのようにいかしているのか。プラン実現にあたり、協働のまちづくり・市民憲章ことの整合性を図るのか。</p>	<p>市民アンケート調査で頂いた御意見については、関係部署と調整を図りながら反映を検討いたします。また、市民憲章や協働のまちづくり条例の理念に基づき、策定段階での市民参加や協働によるまちづくりについての記載を検討いたします。</p>

意見の概要	市の考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・市民憲章・協働まちづくり条例を媒介に、市域の企業も含めたあらゆる主体に、プランを浸透させる。 ・アンケートでは今後の施設整備のあり方として、計画段階から市民の意向を反映させ、必要最小限の費用で済む計画を望み、限られた財源を有効に活用、優先順の高いものを集中的にすべきとある。空き家利用、民間活力をいかすことなど考慮する。 	<p>市民憲章や協働のまちづくり条例の理念に基づき、市民意見を反映しながら策定作業を進めているところです。</p> <p>平成 27 年度には市民アンケート調査、地区別懇談会、パブリックコメント等の実施を通じて、都市計画マスタープランの周知や市民意見の反映に努めてきました。</p> <p>平成 28 年度も引き続き、周知活動や市民意見の反映を行いながら計画策定に努めてまいります。</p>
<p>プランの認知度が低く、周知等に工夫が要る。要因として市民の参加度合と、ハード主流で業者への委託だけが独り歩きしているのでは。</p>	<p>都市計画マスタープランの認知度向上及び市民意見の反映を目指し、策定段階から住民参加を促すため、平成 27 年度にはアンケート調査、地区別懇談会、パブリックコメント等を実施しました。特に住民説明会の実施に当たっては、市報掲載だけでなく区長等を通じた周知活動を行いました。</p> <p>平成 28 年度も引き続き取組み行うとともに、策定後の周知活動についても検討してまいります。</p>
<p>ハード色彩が濃くソフトである総合計画等とのバランスを要求されている。都計事業が民間委託の比重が大きく、市民に疎遠なものになりかねない。例えば、道路は何のために造るのかなど説明が要る。</p>	<p>個別の都市計画を決定する際には、都市計画マスタープランの方針に基づき行うこととなりますが、その際には住民説明会・公聴会の開催など市民への説明を行い、市民との合意形成を図ることとなっております。</p>

4. 都市計画審議会での主な意見

【開催概要】

都市計画マスタープランに関する検討を行ったものについて、以下に示す。

回数	日時	内容
第1回	平成27年8月18日(火) 午前11時～12時	・石岡市都市計画マスタープランの策定について ・石岡都市計画火葬場について
第3回	平成27年12月22日(火) 午前9時30分～11時	・石岡市都市計画マスタープラン全体構想について

【主な意見】

■都市構造、コンパクトシティに係る意見

回数	主な指摘事項
第1回	<p>都市構造のイメージとあるが、何が書いてあるか解らない。それぞれの地域性を起こして描いてもらいたい。</p> <p>八郷区域と石岡区域では生活様式が違うので、コンパクトシティ化を目指すというもできるのか。</p> <p>集約型都市構造とは何かということが解らない。今まで以上に公共サービスを行わないと乗り切れないわけで、逆の話である。地域コミュニティの維持、自治会活動の維持は無理である。全体的に維持できていないからどうしたら良いのかということで、集約型都市構造となる。世帯数が一貫して増加とあるが、高齢者の一人世帯、二人世帯が増えてくるということであり、自治会の継続ということとは合わない。</p>
第3回	<p>コンパクトというと、小さく固まったというか、集約したというような形があるが、実際は広大な土地の中で点在していく。現実的には、人は集約されるのではなく、長いスパンで考えても、点在していくので、量的拡大から質的向上という点でコンパクトという言葉を使っていると思うが、もう少し説明が必要。</p> <p>コンパクトシティという言葉に関して、まちづくり三法は、中心市街地に都市機能を集約して活性化を図るという概念なので、この言葉で自然豊かな八郷地区まで含んでコンパクトシティと言うと、八郷地区の人は違うと感ずるのではないか。石岡地区の中心市街地を活性化する場合は良いが、これで全体を含むのは合わないのではないか。</p> <p>コンパクトなまちで締めくくっているんで、全体がコンパクトなまちに終結するようなイメージを与えてしまうので、コンパクトを使うならば、もう少し前に持っていた方が良いのではないか。</p> <p>コンパクトな拠点づくりを行うにしても、選択と集中が必要であり、定住人口を増やすには、特別区域のようなものを作りながら誘導しないと、平準的に定住人口を増やすのは難しい。ある地区に関しては、居住地区として条例等を使い集中し、他を順次やっていくという、メリハリのある選択が必要。</p>

回数	主な指摘事項
	理念が一番大事なところなので、誤解を生じない言葉に置き換えた方が良い。経済交流性からコンパクトに持っていくという他に、世代間の交流が生まれるやあたたかいコミュニティができるだとか、そういう雰囲気という言葉が入ると良い。
	ある程度の交通や手続、病院などが集積されていて、一定の生活ができるという地域の設定がコンパクトシティではないか。各地区で核を設定し、そこで、ある程度の生活ができる、他所に行かなくても、その地域の中で完結するというようなまちづくりが求められてくるのではないか。

■線引きや各地区の特性に応じた土地利用に係る意見

回数	主な指摘事項
第1回	八郷地区は、農村地帯であり、里山があり、そういった良いところを出して生活している。石岡地区は、まちなかの空洞化など、人口が減少している状況にある。八郷は、農業経営者も高齢化が進み、耕作放棄地が増えており、そういった状況を踏まえて土地利用を考えなければならない。異なったものをバランス良くと言っているが、それぞれにあった土地利用を考えてほしい。
	石岡市は駅舎の新築、庁舎の改築、ジャスコがイオンに建て変わるなど聞いている。反面、荒廃した宅地が至る所に見られる。行政の中で、ある程度の決まりを決めていく必要があるのではないか。そうでないと、アンバランスなまちになると思う。
	同じ農地でも、市街地として利用できないところと利用できるところが生まれ、不公平感が生まれてしまうという書きぶりや、最後の方にこの二つの都市計画区域の不均衡を是正する必要があるという書きぶりが、線引を廃止したいという意図を持って描かれているような印象を受け、誤解を招きそうである。
	メリット・デメリットを挙げておきながら、否定的に捉え、廃止したいと読み取られるという意見があったが、最初からアンバランスや不均衡と述べるのは不自然である。
	旧八郷と石岡は違う背景を持った地区なので、統合して同じようにしなくて良いのではないかとすることは一般市民も思っている。多様性があって良いと思う。
第3回	開発等を行う可能性がある場合、自然や耕作地などを守るための規制を行いながら、20年後を考えて進めていく必要がある。高齢化が進行する中で、耕作放棄地が大きな問題になってくるので、20年後を見据えて、まちづくりを考えなければならない。
	八郷地区の集落の周辺の畑などは、農業振興地域を外すべき。地区に魅力を感じて住みたい方がいるが、農振地域を外し、住めるようになるまでに2年近くかかるので、足かせは外すべき。

■広域的な市の役割に係る意見

回数	主な指摘事項
第1回	石岡の中の八郷と石岡だけでなく、茨城県における石岡市、首都圏における石岡市がどのようになっているのかということを正確に認識して、都市計画をお願いしたい。

回数	主な指摘事項
第3回	石岡だけで夢物語をつくっても意味がないと思うので、近隣市町村と、都市計画について総合的に地域の方向性を定める必要がある。首都圏や茨城県の中で石岡はどうあるべきかということを考えていただくとありがたい。

■地域資源の保全・活用や活性化に係る意見

回数	主な指摘事項
第1回	歴史のことが入っていない。石岡の歴史はすごく重要であると思うので、マスタープランの中に入れてほしい。
第3回	<p>現在、車社会の中で、中心市街地が空洞化しているという状況で、駅前を中心としていくことは決定事項なのか。駅があるから、交通の利便性を高めるのは良いが、商業的な活性の意義があるのかは、他の部署や委員会等で議論されているのか。</p> <p>石岡が住んで良い、誇れるまちとするためには、石岡の良さを押し出す施設がいるのではないかと。何が材料になるかということ、何と言っても歴史である。もう一つは、八郷地区の優れた自然景観で、優れた自然を活かしていく。</p> <p>広報にももう少し力を入れても良いのではないかと。駅に案内板があると良い。</p> <p>石岡の歴史を前面に押し出すイメージづくりはやり尽くしていると思うので、歴史性とは別の観点を、もっと積極的に探す姿勢が、石岡のまちづくりに必要である。</p> <p>歴史を活かしてという言葉は出るが、それが実現されていない。これからは思い切った行動を起こして、実現していくことが課題だと思う。商店街には看板建築が並んでおり、電線類の地中化などしているが、活かしていくソフト事業がない。</p>

■計画の実現（優先順位、実現時期等）に係る意見

回数	主な指摘事項
第1回	<p>行政が作るプランは、多数の市民の意見を反映して、誰からも文句が来ない、理想論的なものを作り、体裁は良いが、どれも実現が難しいものとなる傾向がある。人口減少や高齢化という問題を抱えている以上は、石岡をどうするべきかという危機感や目的意識を持って、ある部分は切り捨て、ある部分は力が出てくる形で、政策的なマスタープランを作る必要がある。</p> <p>マスタープランの期間が平成48年となっているが、長すぎるのではないかと。社会経済情勢が激しく動いているので、少なくとも5年スパンで軌道修正をかけていかないとできない。10年くらいを目標としたらどうか。</p>
第3回	<p>今後、人口が減少する中で、都市計画道路を25路線整備する必要があるのか、疑問。効果的なものとそうではないものの区別、整理が必要ではないかと。</p> <p>話が抽象的すぎて、事業の優先度が付いていない。そうすると、作って終わりという風になるので、優先順位をつける、構造的なことを入れないと、絵に描いた餅に終わる可能性が高い。</p>

■その他の意見

回数	主な指摘事項
第3回	<p>近年、突発的な災害や大きな災害が発生しているの、災害を防ぐためのまちづくりを、強く進めていく必要がある。</p> <p>石岡市はたくさん計画を作っているが、縦割りというか、相互の連携がほとんどないのか。中活、地方創生事業での人口ビジョンや総合戦略との関係はどうなのか。サイクリングロードも県が地方創生でやっており、それとのリンクはどうなのか。</p>